

—————2017. 11. 24 配信—————

児童養護施設等サポーター通信

▼児童養護施設等サポーターホームページはこちら▼

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kekkon/jido-fukushi/11217/supporter-boshuu.html>

=====  
平素は岐阜県児童養護施設等サポーター事業に格別のご理解とご協力を賜り  
誠にありがとうございます。

本メールは、児童養護施設等サポーターとしてご登録いただいたみなさまへ  
お送りしております。

◆◆ I N D E X ◆◆

- 【1】 児童養護施設等ってどんなところ？  
～第25回 児童養護施設 夕陽ヶ丘～
  
- 【2】 サポートのお願い  
～児童養護施設等 4施設～
  
- 【3】 サポートのご報告  
～ぎふ音楽クラブ様にご支援をいただきました～  
～有限会社トライアンフカンパニー様にご支援をいただきました～
  
- 【4】 子ども家庭課からのお知らせ

★★★  
| 【1】 児童養護施設等ってどんなところ？  
| ～第25回 児童養護施設 夕陽ヶ丘～  
| \_\_\_\_\_★★★

○このコーナーでは毎回県内の児童養護施設等を1件ご紹介し、  
みなさまに子どもたちの元気な様子をお伝えします！

○今回は高山市にあります児童養護施設 夕陽ヶ丘をご紹介します。

レポートをしてくださるのは、児童養護施設 夕陽ヶ丘の熊崎さんです。

◆児童養護施設 夕陽ヶ丘はどういうところ？（その2）

飛騨圏域唯一の児童養護施設です。

毎月発行している園だより「40色のクレヨン」は、入所児童一人ひとりにそれぞれの色がある、それを大切にしたいという夕陽ヶ丘の基本理念が込められています。

児童だけでなく、多様化する家族の状況にも目を向け、家族の再統合をはじめ最善の方向を関係機関と共に考えていきたいと願っています。

建物は大舎制の3階建て本館、隣接する小規模グループケア「山田ホーム」に加えて、H30年4月には地域小規模児童養護施設を開設予定です。

それぞれの環境において、安心のある「あたりまえの暮らし」が実現できるよう、子ども達と職員がともに考えて生活の組み立てを行っています。



---

児童養護施設：

被虐待児童、保護者のいない児童やその他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、相談その他の自立のための援助を目的とする施設です。

---

◆年間のイベント等には、どのようなものがありますか？

夏はキャンプ、冬はスキーなど四季折々の行事を楽しんでいます。

地域のお祭りでは児童が獅子舞やお囃子で活躍します。

また、月に一度行われる「はーとふるあーと」では、自己肯定感の向上を目的に、大きな和紙に自画像を描いたり、自然の中での遊びを通して命の大切さを学ぶなど活動を行ったりします。

◆子どもたちが、今、楽しみにしていることや興味を持っていることは何ですか？

今、一番の楽しみはクリスマスプレゼントかも。

小学生以下は担当職員の願いを込めたプレゼント、中高生は一緒に相談しながら何をプレゼントしてもらうか決めます。

クリスマス会では、ボランティアさんのマジックショーやバルーンアート、そして子ども達のダンスやバンドの発表もあります！

◆子どもたちの自立のために取り組んでいることがありましたら教えてください。

高校生は、時期が来れば自分から将来の生活のイメージを語ってくれるようになります。そのタイミングで金銭面や生活面の具体的な話を職員の経験も含めながらできるだけ多くの情報を提供できるよう心がけています。

また、ショート里親さんのお宅で、食事作りなど実際の家庭生活を経験させていただく児童もいます。

◆ どういうサポートを求めますか？

地域社会で生活していくことの大変さは、実際経験してみないと分からないと思いますが、様々な分野の方々の色々な角度からのお話が大変参考になると思います。

職員以外の立場からのお話が、子ども達には入りやすいこともあります。

子ども達と一緒に楽しい経験をさせていただくこともありがたいと思っています。

◆ サポーターの皆さんへ一言！

入所児童を「地域の子ども」として、様々な方々に見守っていただきたいと思っています。施設を退所して自立していく児童は、仕事はもちろん、生活面での支えも必要としています。

将来社会の一員として生活できるよう、大きな目で子ども達のことを考えていただければと願っています。

◆ I N F O M A T I O N ◆ :::::

∴施設名 児童養護施設 夕陽ヶ丘

∴住所 高山市山田町1230-13

∴定員 40名

∴現員 38名

∴（平成29年11月1日現在）

.....

★★★

| 【2】サポートのお願い

└──────────☆☆☆──────────

○現在、児童養護施設等の4施設から支援のお願いがあります。

児童養護施設等サポーターの皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

<乳児院 乳幼児ホームかがやき>

◆外壁清掃をお願いできる方、募集中です。

<乳児院 乳幼児ホームまりあ>

◆下記のような支援をしていただける企業様、募集中です。

- ・院内で一番広い部屋の床を、乳幼児が生活しやすい素材へ改善したいと思っております。工夫・ご提案などをいただけるとうれしいです。

<児童養護施設 日本児童育成園>

◆下記のような支援をしていただける企業様、指導者の方募集中です。

- ・卓球が上達してきている児童に対し専門的な指導をお願いできる方、募集中です。
- ・施設に新しくできたホールで、マジックショー等の催しものをお願いできればうれしいです。

<児童自立支援施設 わかあゆ学園>

◆下記のような支援をしていただける企業様、募集中です。

- ・草刈りや木の剪定
- ・テーブルマナー（食事のマナー）講習
- ・農作業指導のボランティア
- ・職場体験学習の受け入れ先

（2学期から就職決定の時期、職種は問いません。）

★★★

| 【3】サポートのご報告

—————☆☆☆—————

○このコーナーでは、サポーターの皆様にご支援いただいた事例をご紹介します。

◆10月1日（日） ぎふ音楽クラブ 様

ぎふ音楽クラブの方々にご来館いただき、コンサートを披露していただきました。あいにく満月とはいかず、また曇りがちな天候でしたが、虫の声も響き渡り、秋の情緒たっぷりのコンサートになりました。曲調もアップテンポの曲ではなく、秋の夜にぴったりなしっとりとした曲を5曲演奏していただきました。学館の子どもたちもギターやドラムを弾かせていただき、更に即興でセッションもして、とても暖かい雰囲気終了することができました。

桜学館では夜間のイベントはあまり例がありませんが、このような素敵なお月見コンサートを披露くださりまして本当にありがとうございました。

◆10月14日（土） 有限会社トライアンフカンパニー 様

今回、桜学館の親子行事の中でマジックショーを開催していただきました。金属の輪がつながったり、選んだトランプが未開封のペットボトルに入ったり、テーブルが空中に浮いて最後は消えてしまったりと様々なマジックを見せていただきましたが、やはりプロのマジシャン。テンポもよく種もしかけもわかりません。子どもたちはマジックに釘付けで目が離せない様子でしたが、周りで見ていた保護者や職員も全く目が離せませんでした。

1つ1つのマジックに歓声が上がり、とても楽しく見ることができました。初めてのマジックショーで、大人も子どももとても楽しむことができました。

ありがとうございました。

多くのサポーター企業様の温かいご支援を受け、その貴重な体験をもとに子どもたちは日々成長しております。

今後ともご支援の程、よろしく願いいたします。

★★★

| 【4】子ども家庭課からのお知らせ

—————☆☆☆—————

■清流の国ぎふオレンジリボン・キャンペーン10周年記念事業

県では、「社会的養護を要する子どもたちを、ともに育てる地域づくり」をテーマとして、児童虐待防止推進月間のスタートとなる11月1日に、「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止シンポジウム」を開催しました。

基調講演では、NPO法人SOSこどもの村JAPAN常務理事坂本さんをお招きし、「子どもが育つ地域づくり」をテーマとして、児童養護における地域との関わりについてご講演をいただきました。そのあと、「子どもたちをともに育てる地域づくりに向けて」のパネルディスカッションを開催しました。

一人でも多くの子どもが温かい家族で暮らすことができるよう、このオレンジリボン・キャンペーン10周年記念事業を契機として、更なる家庭的な養護を推進していきたいと思っておりますので、引き続き、皆様からのご支援をよろしく願いします。

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南 2-1-1  
TEL:058-272-8325/FAX:058-278-2644  
E-mail:c11217@pref.gifu.lg.jp

次回の配信は1月22日頃を予定しております。

日毎に寒気が加わっておりますが、体調を崩されませんようお願いいたします。

今後とも岐阜県児童養護施設等サポーター事業へのご理解とご協力をお願いいたします。